

## 平成 29 年度 第 1 回練馬区立生涯学習センター運営懇談会 会議録（概要）

- 1 日時 平成 29 年 8 月 30 日（水） 午後 3 時～4 時 10 分
- 2 場所 生涯学習センター 第 1・第 2 会議室
- 3 出席者 川井委員、中島委員、岡本委員、長富委員、田村委員、奥本委員、尼子委員、  
小澤委員、押田委員（練馬区教育委員会事務局社会教育主事）  
（練馬区）文化・生涯学習課長  
（事務局）生涯学習センター所長、副所長 2 名
- 4 欠席者 漆澤委員、井藤委員、小山委員
- 5 傍聴者 0 名
- 6 次第
  - (1) 文化・生涯学習課長あいさつ
  - (2) 議題  
平成 28 年度事業結果報告について  
平成 27・28 年度練馬 E n カレッジ事業実績報告  
平成 29 年度事業結果報告（4 月～7 月）および事業予定について  
平成 29 年度から生涯学習センターで実施している事業について  
主な事業ごとの目標指数について
  - (3) その他
- 7 配布資料
  - 資料 1 平成 28 年・29 年度練馬区立生涯学習センター運営懇談会委員名簿
  - 資料 2 平成 28 年度事業結果報告
  - 資料 3 平成 28 年度施設利用実績
  - 資料 4 平成 27・28 年度練馬 E n カレッジ事業実績報告
  - 資料 5 平成 29 年度事業結果中間報告および事業予定
  - 資料 6 練馬区武蔵大学特別履修生制度
  - 資料 7 「区民発」生涯学習出前講座
  - 資料 8 学びと文化の情報サイト（あ・そ・ぶサイト）
  - 資料 9 主な事業ごとの目標指数について

## 8 会議の概要

### (1) 文化・生涯学習課長挨拶

小金井靖文化・生涯学習課長挨拶

### (2) 議題

<座長> それでは、議事に入る前に、本日の出席委員数の報告を事務局からお願いする。

<副所長> 本日の出席者数は 9 名。なお、漆澤委員、井藤委員、小山委員から所用により欠席の連絡を受けている。また、本日は、傍聴の方はおりません。

<座長> 議事に入りたいと思う。事務局から資料に沿って説明をお願いする。

平成 28 年度事業結果報告  
所長より資料 2、資料 3 に基づき説明

【特に質疑応答はなし】

平成 27・28 年度練馬 En カレッジ事業実績報告  
所長より資料 4 に基づき説明

【特に質疑応答はなし】

平成 29 年度事業実績報告（4 月～7 月）および事業予定について  
所長より資料 5 に基づき説明

【特に質疑応答はなし】

平成 29 年度から生涯学習センターで実施している事業について  
所長より資料 6、資料 7、資料 8 に基づき説明

<座長> 資料 6「練馬区武蔵大学特別履修生制度」を受けた方が、その後、地域でどのような活動をしているのか状況はわかるか。

<課長> 当初から、ボランティアの意思のある方のスキルアップを目的としていたが、

練馬 En カレッジが始まり、練馬 En カレッジの受講生と修了生を履修生制度の対象としている。もともと地域でボランティア活動をしたいという方なので意識を持った方が履修している。一つ例を挙げると、履修科目の中では「日本語教授法」という講座の人気の高い。日本語を外国人に教える方法を学ぶ講座で、この講座を毎年5人程受講しており、外国人に対する日本語ボランティアを行っている。また、履修する前にボランティア活動をしていた方も、履修することで、より深く体系的に日本語教授法を学ぶことで、それを生かして共生社会のために活動している。

<座長> 学校で学んだことをボランティア活動を通じて生かしていきたいと考えている方はたくさんいる。大学生や一般の人が一緒にボランティア活動をする制度は練馬区にはないのか。

<課長> 一つの例として、日本語を外国人に教えるボランティア活動について挙げた。東京都の日本語ボランティアでは、オリンピック・パラリンピックの組織と多文化共生の組織でボランティア制度を行っている。練馬区では、ボランティアセンター等でボランティアの情報を提供している。

<座長> 定年退職した方が、経験してきたこと等をボランティアとして活用していける場を区が広げていけるようになれば良いと思う。また、少しでも多くの人に参加して、外国の方がきたときご案内できるような人が1人でも多くいたら良いと思う。

<委員> 外国の人に日本語を教えることが例として出た。私は20年以上ボランティアとしてグループの一員として活動してきた。グループの中には何人かが武蔵大学履修生講座を受講している。そこで受講した方は、私のグループの中で教えていくことができる。先ほど現在5名程いると話がありましたが、現在日本語を外国人に教える団体は17グループある。その5名の方が17グループの中から出ているならば、勉強していることを役立てていると思う。しかし、17グループに入っていない方が武蔵大学履修生講座を終えた後に、活動する場がなく勉強したスキルを活用できない残念なケースもある。区に担当する部署がありリストも作られているが、外国の方から日本語を教えて欲しいと声がかかることはかなり少ない。どう有機的に生かしていくか今後の課題だと感じている。

<座長> 自分たちの経験を使って欲しいという人はたくさんいる。そういう方たちを吸い上げながら、武蔵大学で勉強した方を合わせて参画してもらえたらと思う。

主な事業ごとの目標指数について

## 所長より資料9に基づき説明

<座長> 質問等ございましたらお願いしたい。

<副座長> 目標値が出たということは素晴らしいことだと思う。この目標値が良いか悪いかは結果が出ないとわからないが、後で振り返ればいいことで、目標値を定めることのメリットは、共通の目標感を持てることにある。また、共通の問題意識も持てる。まず動いてみようということは非常に良いことであり、満足度評価というのは待ちの姿勢だったと思う。こういう目標感があれば、「どう達成していくか、どう策を練るか」、動きが変わってくると思う。1年経ったときワクワク、ドキドキ感じられると思う。初めての試みなので、目標値がとんでもない数値だったと笑い話になるかもしれない。ただやったこと自体は意味があると思う。その数字を達成するために何をするか行動をとらなければいけない。一つのきっかけとしては良いのではないかと感じた。

<座長> 副座長が言われたように、目標が無いと前に進めない。結果はわからないが、何かに向かっていくことは必要だと思う。

<所長> 目標に向かって取り組んでいただくことは良いことだと思う。目標値が妥当かどうか、また検証をどうするのかも併せて難しい問題であり、今後考えていきたい。29年度は既に5ヵ月経過しており、来年度に向けて検討していくことになる。今回はきっかけということで議題とさせていただいた。今年度末に次回の運営懇談会を予定しているので、そこで目標値や検証について考えていきたい。今後ご意見等があれば参考にさせていただくのでご連絡をお願いする。

### (3) その他

<座長> 練馬区独立70周年記念「心に響け！文化芸術の饗宴」を9月に実施する。和と洋のコラボレーションをテーマに練馬区文化団体協議会に加盟する17団体が作品展示と舞台発表を行うのでご来場を。

<課長> 春と秋に行っている区民文化祭の活性化のきっかけとなるよう、また多くの方に見ていただけるように周知をお願いする。

<所長> 団体支援の事業の一つとして新しく「文化団体舞台発表促進事業」を立ち上げる。「平日夜間に生涯学習センターのホールを使って舞台発表をしませんか」とい

う内容で、その際のホール使用料等が免除になり、また、事業の宣伝についても生涯学習センターが支援していく。団体の方の発表の機会を作るとともに、観覧された方が団体に加入し、団体が活性化していくことを目的としている。練馬区文化団体協議会に加盟している団体、生涯学習センター自主サークル舞台連絡会に加盟している団体、生涯学習団体のうち、舞台芸術（音楽、芸能等）分野の団体を対象とし、回数は年間で24回を上限とする。一つの団体の上限は6回とし、申込多数の場合は抽選で決めていく。29年度は10月スタートで半期になるが、24回を上限として実施していく。

<座長> 最後に副座長にしめていただきたい。

<副座長> この運営懇談会で本当に練馬区の生涯学習について大切なことを議論していると改めて認識した。皆がもっと練馬区の生涯学習について知る機会があれば、もっと横のつながりが自発的にできるのではないかと感じた。

<座長> 次回は来年3月を予定している。今後ともよろしく願います。